



「見て、聴いて、感じる“おでかけ”まちづくり講座」20講を開催しました！

## 多世代のつながりづくりと居場所づくり ～「野川のえんがわ こまち」から学ぶ～



2024年1月24日(水)、乳児から高齢者まで、広く市民に向けて地域に開いた狛江市にある多世代交流の居場所「野川のえんがわ こまち」の見学と、パルシステム東京の市民活動助成基金の助成団体となったことでつながった生協との関係についてなど、お話を聞く講座を開催し、12名が参加しました。



閑静な住宅街にある古民家の「野川のえんがわ こまち」は、対象を限定せず「誰でもふらりと立ち寄れる場所」を目指し、市民グループ「comarch」が2020年6月に立ち上げました。「えんがわと名前にあるのだから」と地域の方が作ってくれた広い縁側から室内に入ると、まるで実家に帰省したかのような居心地の良さ。1階3部屋、2階2部屋を開放しています。日当たりのよい庭先では地域の方々と一緒に植えられた花や野菜が育っていました。1日に訪れるのは20人～30人くらいで、子どもたちが楽しむ時間、中高生のための時間、おとながくつろぐ時間、食事を一緒にする日など、曜日や時間によって決まっていますが、基本は年齢や属性で分けずに“いつでもどうぞ”と開かれています。この日の居間も、さまざまな世代の方々で賑わっていました。0歳から90代まで幅広い方の利用があるとのことでした。

みんながくつろぐ居間、少人数で楽しむための部屋、一人きりで過ごせる空間などを見せていただきました。2階には、ひとりで勉強をしたり、オンライン会議に参加したり、集中できる部屋もあります。



「これ、読んだことある！」「懐かしい！」と、参加者も盛り上がった「小さな漫画図書館」の部屋。新しい漫画を所蔵する近くの児童館にはない、懐かしい時代の漫画がたくさん並んでいます。子どもたちは児童館と使い分けて、漫画の世界に浸ることができます。



見学させていただいた水曜日は「こまち食堂」の日。朝早くからスタッフと地域の皆さんで準備していました。その中のおひとりとは、この2階に住んでいらっしゃるとのこと。夜の防犯対策も万全です。

「こまち食堂」の野菜をたくさん使った美味しいランチもいただきました。食材はパルシステム東京から提供されたものも使われていました。



梶川 朋さん  
(comarch 代表理事)

安心して居心地よく過ごすことのできる場所は、人それぞれ違います。地域に小さくとも多様な居場所が点在し、一人ひとりの肌に合う居場所があることが大切なのではと思っています。comarchは、「まちのえんがわ事業」の他にも、市民の支え合いによる日常生活のお手伝いの「支え合いサービス事業(こまちア)」や、市民のつながりを育む社会教育活動の「まち育て事業」も行っています。どの事業でも大切にしているのは「生きることを分けないこと」です。だれにも役割や活躍の場があるように、「生きる」ことを活動を通して考えたいと思っています。

パルシステム東京  
狛江センター会議室を  
お借りしての学習会



北川 勝之さん  
(パルシステム東京  
組織部 主任)

1997年度に作られた「市民活動助成基金」。生協の剰余金の積立金を活用して毎年継続しています。年間の助成総額は上限500万円、各助成団体には10万円、または50万円の2つの上限コースがあります。2023年度までに支援した団体数はのべ306団体。喜ばれているのは、「幅広い経費を助成していること」「お金だけの支援ではなく生協と連携できること」「広報支援」です。

狛江センターのすぐ近くにある「野川のえんがわ こまち」さんの助成が決まってから、梶川さんと顔の見える関係になり、継続してとてもいい関係が築けています。パルシステム東京で行っている「お米の出前授業」のバケツ稲や粃摺り体験を遊びに来られているみなさんに体験してもらいとても喜ばれました。また隣の公園で開催されたイベントにお誘いいただき、センターの敷地を自転車置き場として開放。また新規組合員勧誘のコーナーでも出展。事業と活動のつながりを実感しています。



渡辺 茂雄さん  
(パルシステム東京  
狛江センター活動長)

### 【アンケートの感想より】

- 「誰もが共に歩むことができるまちづくり」を信頼できる仲間と一緒にしてきた。働くことと遊ぶこと、老いることと育つこと、誰もがともに過ごせる居場所づくり。とても大きな活動をされているのに、梶川さんもスタッフの方も気負いがなく、穏やかでゆったりとした空気を醸し出されていたことです。人が集まりたくなる居場所はこうして作られていくのだと実感できました。
- 年齢や属性などで分けない居場所、それぞれが役割と活躍を持つことはとても大切なことだと感じました。